

JR東海労  
大二運分会

# 交差点

No. 269  
2010年6月22日  
責任者：高原弘幸

## 見た目、格好悪いですよ！

何でもかんでも「言われたとおりして下さい！」

新幹線の車掌が切符の変更等のために携帯する機械「新型車掌携帯端末」が4月下旬から導入されました。この機械は端末機能が付いて乗客からの申告に対して素早く対応できることを売り物としてします。

会社は、この機械の携帯方法について腰または肩から吊したホルダーに入れて制服内側から表に出しておくことを掲示で指示しています。しかし、制服の表に出しておくということは乗客から直接見える事になり、日頃からブランドクオリティを推奨している会社にとっては、「言っていることとやっていることが違うのでは」と疑いを持って乗務している乗務員がほとんどなのではないでしょうか。

しかも、腰に巻いたホルダーは脇腹を締め付け、肩から吊すひもは肩こりを引き起こしています。以前装着していたホルダーならズボンベルトに直接装着出来、今のような負担がなくなるのではないのでしょうか。

### 職場では指摘・注意！乗務してからは監視の目！

会社は、職場の点呼では「お客様から見える様に指示された通りに装着して下さい」と指導し、乗務してからもスーツ姿で乗客にまぎれた社員が、車掌の装着状態を点検しています。

会社は、命令に従わせるだけの社員管理を強要せず、乗務員の乗務実態に合った使用方法にするべきだと私たちは主張します。